

成績概要書（2003年1月作成）

課題分類：

研究課題：とうもろこし（サイレージ用）「TH9861」

担当部署：北海道農研・作物開発部・飼料作物育種研、道立十勝農試・研究部・てん菜畑作園芸科、道立畜試・環境草地部・草地飼料科

担当者名：

協力分担：十勝西部地区、胆振東部地区農業改良普及センター

予算区分：受託

研究期間：2000～2002年度

1．目的

サイレージ用とうもろこし外国導入品種の各地域における適応性を評価し、優良品種を選定する。

2．方法

品種名：TH9861

組合せ：単交雑（フリント×デント、構成系統は不明）

育成者：フランスカナダ・セメンセス

導入者：タキイ種苗株式会社

登録：OECD 2000年

3．結果の概要

1）熟 期

絹糸抽出期は「ロイヤルデント90H」より約2日遅い。収穫時の熟度および総体乾物率は「ロイヤルデント90H」並である。熟期は中生の早に属する。

2）耐倒伏性

「ロイヤルデント90H」よりやや強い。

3）発芽および初期生育

発芽および初期生育は「ロイヤルデント90H」並である。

4）収量性および乾物特性

乾総重および推定TDN収量は平均で「ロイヤルデント90H」より9%高い。乾雌穂重割合は「ロイヤルデント90H」並である。

5）形態特性

稈長および着雌穂高はいずれも「ロイヤルデント90H」より高い。

6）耐病性

すす紋病抵抗性は「ロイヤルデント90H」および「キタユタカ」より強い。ごま葉枯病抵抗性は「ロイヤルデント90H」よりやや強く「キタユタカ」より強い。

表1 生育および収量調査の結果概要

場 ¹⁾ 所	品種・系統名	年 ²⁾ 次	発芽 期 (月日)	初期 ³⁾ 生育 (1-9)	絹糸 抽出 期 (月日)	稈長 (cm)	着雌 穂高 (cm)	倒伏 ⁴⁾ (%)	収穫時 熟度	有効 雌穂 割合 (%)	収 量 (kg/10a)			総体 乾物 率 (%)	乾雌 穂重 割合 (%)	乾物中 推定 TDN (%)
											乾物 総重	推定 ⁵⁾ TDN	同左 比			
十勝 農試	TH9861 ロイヤルデント90H	H12	5.24	5.4	8. 1	271	122	0.5	糊後-黄初	101.1	1572	1158	108	24.4	57.9	73.7
		H14	5.24	5.9	7.28	247	93	1.3	黄初	96.2	1460	1069	100	25.6	56.1	73.2
畜試 滝川	TH9861 ロイヤルデント90H	H12	6.09	6.3	8. 5	234	105	1.7	黄中	99.8	1530	1120	110	30.2	55.6	73.1
		H14	6.09	6.0	8. 4	223	85	2.3	黄中	99.6	1401	1020	100	26.8	54.4	72.8
北農 研	TH9861 ロイヤルデント90H	H12	5.30	7.8	7.29	216	90	0.0	黄初-中	99.1	1617	1179	111	27.2	54.9	72.0
		H14	5.29	8.0	7.27	206	77	0.0	黄初-中	100.0	1459	1063	100	27.1	54.7	72.9
鹿追 町	TH9861 ロイヤルデント90H	H13	5.20	6.8	8. 7	268	123	0.0	糊中-後	100.0	1473	1027	117	21.9	43.0	68.7
		H14	5.21	5.5	8. 6	239	79	0.0	糊初-中	99.0	1259	879	100	21.5	42.9	69.7
鶴川 町	TH9861 ロイヤルデント90H	H13	5.28	6.2	8. 5	231	112	3.4	黄中	100.0	1453	1042	100	25.2	50.4	71.7
		H14	5.28	5.7	8. 3	214	81	33.7	黄中	98.7	1445	1039	100	26.3	50.9	71.9
試験場 平均	TH9861 ロイヤルデント90H	H12	6. 1	6.4	8. 2	243	108	0.9	黄初-中	100.1	1568	1149	109	27.3	56.3	73.3
		H14	5.31	6.5	7.30	228	86	1.7	黄初-中	98.4	1438	1049	100	26.4	55.1	73.0
現地 平均	TH9861 ロイヤルデント90H	H13	5.24	6.5	8. 6	250	117	3.4	黄初	100.0	1463	1034	109	23.6	46.7	70.2
		H14	5.24	5.6	8. 4	227	80	33.7	糊後-黄初	98.9	1352	959	100	23.9	46.9	70.8

注 1) 畜試滝川：道立畜試草地飼料科滝川試験地

2) 北農研の平成13年は受託側の事情により試験を行わなかったため、平成12年と14年の2か年平均を示す

3) 1：極不良～9：極良の評点

4) 倒伏と折損の合計個体率、品種間差異が認められた試験の平均

5) 推定TDN収量 = 乾茎葉重 × 0.582 + 乾雌穂重 × 0.85

表2 病害抵抗性に関する特性検定試験結果（北海道農研）^{1,2)}

品種・系統名	すす紋病		ごま葉枯病	
	H11.8.23, 28	H12.9.9	H12.9.4, 12	H13.8.31
TH9861	4.0	4.0	2.0	5.0
ロイヤルデント90H	-	5.7	3.0	6.0
ディアHT	4.0	3.3	2.7	6.7
キタユタカ	6.0	4.7	3.3	6.3

注 1) 罹病程度の評点値（1：無～9：甚）

2) 接種方法は、すす紋病では粉碎罹病葉懸濁液を感染源品種（エマ）に接種、ごま葉枯病では麦粒培養した菌または粉碎罹病葉懸濁液を全個体に接種

4. 成果の活用面と留意点

普及対象地域：十勝中部の気象条件が良好な地域

普及見込み面積： 800ha

配布しうる種子量： 20t

5. 残された問題とその対応